

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

「パインブリッジ・バンクローン・ファンド 2015-04」は、信託約款に基づき、2018年4月27日をもって償還を迎えました。当ファンドは主として「パインブリッジ・シニア・セキュアード・ローン・サブ・トラスト1」（円建て）に95%程度、「短期債マザーファンド」に5%程度の投資を行うことを基本としました。

ここに、運用状況および償還内容をご報告申し上げます。
長い間ご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

当作成期の状況

償還価額 (当作成期末)	9,935円24銭
純資産総額 (当作成期末)	1,178百万円
騰落率 (当作成期)	△0.4%
分配金合計 (当作成期)	0円

(注) 騰落率は収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算しています。

交付運用報告書 満期償還

パインブリッジ・ バンクローン・ ファンド 2015-04 〈愛称：アメリカン・スカイ 15-04〉

単位型投信／海外／その他資産
(バンクローン)

第7作成期

(2018年3月13日～2018年4月27日)

第12期 (償還日：2018年4月27日)

当ファンドは、信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。右記〈お問い合わせ先〉ホームページの「ファンド一覧」の「償還ファンド一覧」から当ファンドのファンド名称を選択することにより、当ファンドのページにおいて運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。運用報告書（全体版）をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。



パインブリッジ・インベストメンツ株式会社
〒100-6813 東京都千代田区大手町一丁目3番1号 JAビル

お問い合わせ先・・・投資信託担当

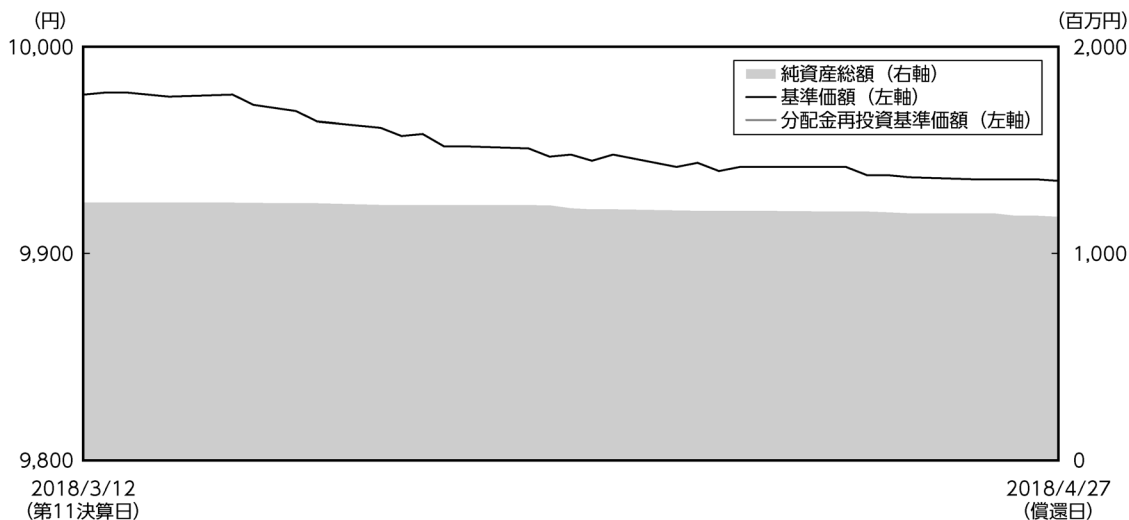
電話番号／03-5208-5858

(受付時間／9：00～17：00（土、日、祝休日を除く）)

ホームページ／<http://www.pinebridge.co.jp/>

運用経過 (2018年3月13日～2018年4月27日)

基準価額等の推移



第12期首 : 9,977円
償還日 : 9,935円24銭
(作成対象期間中の既払分配金 : 0円)
騰落率 : $\Delta 0.4\%$ (分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。なお、当ファンドは作成対象期間中の既払分配金がありませんので、分配金再投資基準価額と基準価額は同一です。
※当ファンドは単位型投信ですので実際には分配金を再投資することはできません。また、課税条件等を考慮しておりませんので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

基準価額の主な変動要因

当ファンドの主な投資対象であるパインブリッジ・シニア・セキュアード・ローン・サブ・トラスト1(ケイマン籍/円建て外国投資信託)の基準価額が下落したことが、当ファンドの基準価額の主な下落要因となりました。

1万口当たりの費用明細

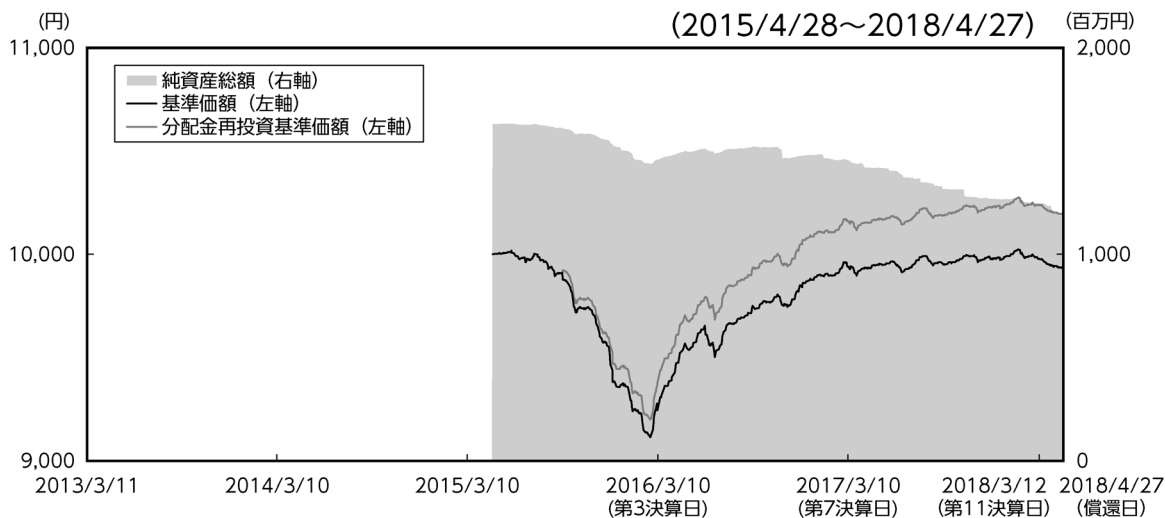
項 目	第12期 (2018.3.13~2018.4.27)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信託報酬	13円	0.127%	信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,952円です。
(投信会社)	(3)	(0.027)	委託した資金の運用、交付運用報告書等の作成、ファンドの監査等の対価
(販売会社)	(9)	(0.095)	交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(0)	(0.004)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	20	0.200	売買委託手数料=期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数
(投資信託証券)	(20)	(0.200)	売買委託手数料は、外国投資信託証券の売却時にかかる信託財産留保額
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税=期中の有価証券取引税/期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用 (その他)	0 (0)	0.000 (0.000)	その他費用=期中のその他費用/期中の平均受益権口数
合 計	33円	0.327%	

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。また、各項目ごとに円未満は四捨五入しています。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目の費用は、このファンドが組入れている外国籍投資信託証券が支払った費用を含みません。

最近5年間の基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※当ファンドは単位型投信ですので実際には分配金を再投資することはできません。また、課税条件等を考慮しておりませんので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

※当ファンドは、適切に比較できる指数がないため、ベンチマーク等はありません。

※当ファンドは、設定日から5年間経っていませんので、設定来の推移を表示しています。

			2016/3/10 決算日	2017/3/10 決算日	2018/3/12 決算日	2018/4/27 償還日
基準価額	(円)		9,245	9,941	9,977	9,935.24
期間分配金合計（税込み）	(円)		135	75	40	0
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)		△6.2	8.4	0.8	△0.4
純資産総額	(百万円)		1,454	1,452	1,247	1,178

※2016/3/10決算日の騰落率は、設定日との比較を表示しています。

※2018/4/27償還日の騰落率は、2018/3/12との比較を表示しています。

投資環境について

<バンクローン市場>

当作成期のバンクローン市場は、上昇しました。新規発行は、M&A（企業の合併・買収）関連の発行も多くあったことから、非常に力強いものとなりました。4月に入り、米国債利回りの一段の上昇を受け、金利上昇局面に相対的に有利とされるバンクローンへの需要により上昇基調が継続しました。

<ハイイールド債券市場>

ハイイールド債券市場は、3月下旬までは大手テクノロジー企業に関する悪材料に加え、米中の貿易摩擦懸念等を背景に投資家心理が悪化したことで投資信託やETF（上場投資信託）からの資金流出につながり、信用スプレッド（国債への上乗せ金利）が拡大したことなどを背景に下落基調となったものの、4月に入り投資家心理の改善や良好な米国の経済指標を受け上昇に転じました。

<国内短期債券市場>

短期国債3ヵ月金利は日銀金融緩和の継続、及び海外投資家からの買い需要を背景に、引き続きマイナス圏で推移しました。作成期中の金利レンジは、概ねマイナス0.10%からマイナス0.20%でした。

ポートフォリオについて

<パインブリッジ・バンクローン・ファンド 2015-04>

当ファンドの運用方針に基づき運用を行いました。2018年4月27日のファンドの償還に向けてポートフォリオの現金化を図りました。

<パインブリッジ・シニア・セキュアード・ローン・サブ・トラスト1>

ファンダメンタルズが相対的に強固である企業のバンクローンを中心にポートフォリオの運用を行いました。相対的に割安であると判断した銘柄や新規発行銘柄の積極的な組入れを行う一方で、割高と判断した銘柄については売却を行いました。

ファンドの流動性を確保する目的でポートフォリオの一部をハイイールド債に投資しています。業種分散、格付け別組入構成にも十分に配慮し、ポートフォリオを構築しています。

<短期債マザーファンド>

短期国債金利はマイナス金利で推移する状況に変化はないことから、現状、残存1年以下の短期ゾーンの国債を保有しています。

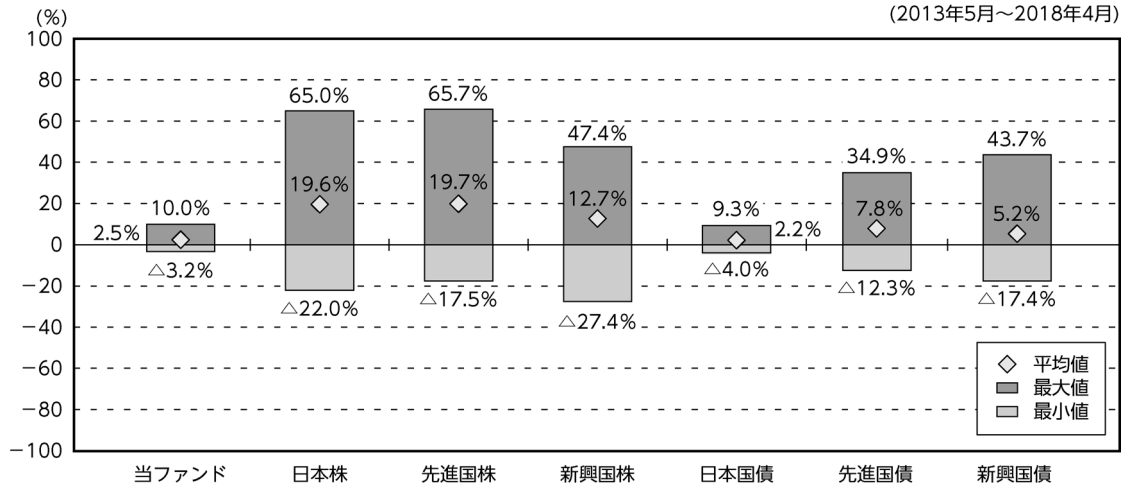
ベンチマークとの差異について

当ファンドは、ベンチマーク等はありません。

当ファンドの概要

商品分類	単位型投信／海外／その他資産（バンクローン）	
信託期間	2015年4月28日から2018年4月27日まで	
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> ・「パインブリッジ・シニア・セキュアード・ローン・サブ・トラスト1」（円建て）に95％程度、「短期債マザーファンド」に5％程度投資を行うことを基本としますが、収益性、流動性ならびに当ファンドの資金動向等を勘案のうえ決定します。 ・「パインブリッジ・シニア・セキュアード・ローン・サブ・トラスト1」（円建て）への投資を通じて、主として米国企業向けバンクローン（貸付債権）に投資を行い、安定的なインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指します。 ・「短期債マザーファンド」への投資を通じて、国内外の公社債に投資を行い、信託財産の安定的な成長を目指します。 	
主要投資対象	パインブリッジ・バンクローン・ファンド 2015-04	「パインブリッジ・シニア・セキュアード・ローン・サブ・トラスト1」を主要投資対象とします。
	パインブリッジ・シニア・セキュアード・ローン・サブ・トラスト1	米国企業向けバンクローンを主要投資対象とします。
	短期債マザーファンド	内外の公社債、内外のコマーシャル・ペーパーおよび外国法人が発行する譲渡性預金証書を主要投資対象とします。
運用方法	パインブリッジ・バンクローン・ファンド 2015-04	<ul style="list-style-type: none"> ・投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 ・株式への直接投資は行いません。
	パインブリッジ・シニア・セキュアード・ローン・サブ・トラスト1	<ul style="list-style-type: none"> ・主として米国の投資適格未満（BBB格未満）の企業向け担保付バンクローンに投資を行います。 ・実質組入れの外貨建て資産については、為替変動リスクを回避するため、原則として為替ヘッジを行います。
	短期債マザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> ・株式への投資は行いません。 ・外貨建て資産への投資割合は、信託財産の純資産総額の50％以下とします。
分配方針	毎年3、6、9、12月の各10日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

<参考情報> 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

※上記グラフは、2013年5月～2018年4月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。なお、当ファンドは2015年4月28日設定のため、2016年4月～2018年4月までの平均値・最大値・最小値を表示しています。

※上記の騰落率は直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

●各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数 (TOPIX) 配当込み

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス (配当込み・円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み・円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド (ヘッジなし・円ベース)

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

東証株価指数 (TOPIX) 配当込みは、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、株式会社東京証券取引所が有しています。

MSCIコクサイ・インデックス (配当込み・円ベース) およびMSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み・円ベース) は、MSCI Inc.が開発した指数で、同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が作成している指数で、同指数に関する知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属しています。また、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。

FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより算出および公表されている債券指数であり、同指数に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド (ヘッジなし・円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出・公表する指数で、同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容（2018年4月27日現在）

償還日現在における有価証券等の組入れはありません。

純資産等

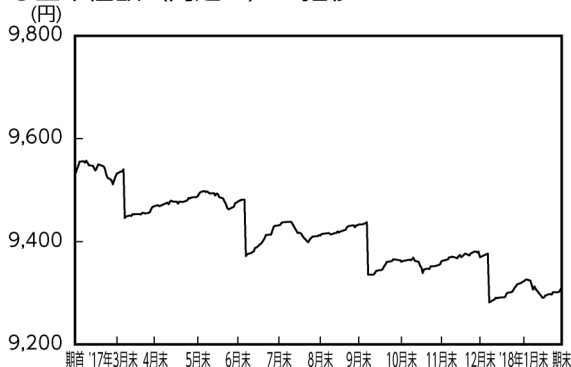
項 目	第12期末
	2018年4月27日
純資産総額	1,178,564,415円
受益権総口数	1,186,246,388口
1万口当たり償還価額	9,935円24銭

※当作成期間（第12期）中における解約元本額は63,752,553円です。

組入ファンドの概要

パインブリッジ・シニア・セキュアード・ローン・サブ・トラスト1の組入資産の内容
(2018年2月28日現在)

●基準価額（円建て）の推移



※基準価額は、日々の時価に相当する1万口当たり純資産総額を使用しています。

●1万口当たりの費用明細

1万口当たりの費用明細の取得が困難なため、表示しておりません。

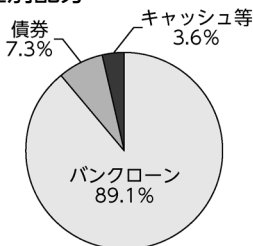
●組入上位銘柄

(組入銘柄数：400銘柄)

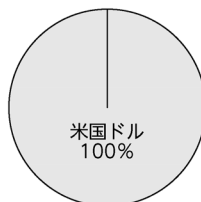
銘柄	業種	償還日	クーポン(%)	比率(%)
Epicor (Eagle Parent, Inc.)	電子機器	2022/06/01	4.90	1.0
Sprint Communication	電気通信サービス	2024/02/02	4.19	1.0
MoneyGram Payment Systems	金融	2020/03/27	4.94	0.9
USI Holdings Corporation (Compass)	保険	2024/05/16	4.69	0.9
Caesars Resort Collection	ホテル・カジノ	2024/12/23	4.40	0.9
Community Health CHS	ヘルスケア・教育・保育	2021/01/27	4.98	0.8
Sterigenics (Nordion Topco)(STHI Holding)	ヘルスケア・教育・保育	2022/05/16	4.65	0.8
JBS USA LLC	食品・飲料・タバコ	2022/10/31	4.10	0.8
Centurylink Inc	電気通信サービス	2025/01/31	4.40	0.8
CCC Information Systems	コングロマリット (サービス)	2024/04/29	4.65	0.7

※比率は当該ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

●資産別配分



●通貨別配分



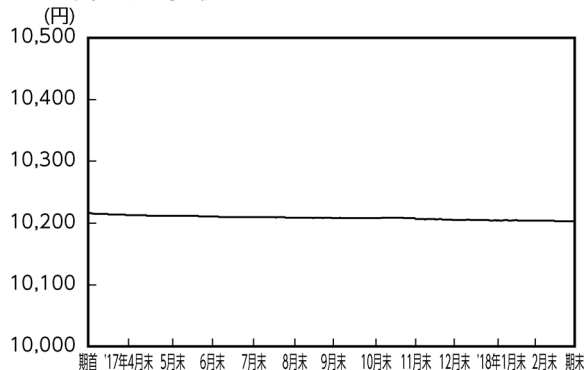
※比率は当該ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

※基準価額の推移、組入上位銘柄、資産別・通貨別配分は、組入ファンドの直近入手可能な決算日現在のものです。

※国別配分につきましては入手できるデータがありませんでしたので記載していません。

短期債マザーファンドの組入資産の内容 (2018年3月29日現在)

●基準価額の推移



●1万口当たりの費用明細

項目	
その他費用	0
(その他)	(0)
合計	0円

※基準価額の推移、組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分、1万口当たりの費用明細は、組入マザーファンドの直近の決算日現在のものです。なお、費用項目については2ページの注記をご参照ください。

※運用経過については、運用報告書 (全体版) をご参照ください。

●組入銘柄

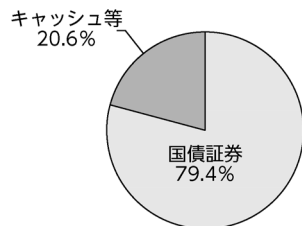
(組入銘柄数: 1銘柄)

銘柄名	資産別	国	通貨	比率(%)
第112回利付国債(5年)	国債証券	日本	日本円	79.4

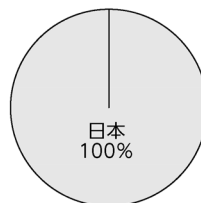
※比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

※全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しております。

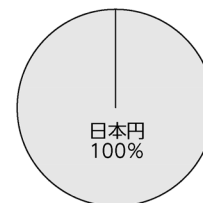
●資産別配分



●国別配分



●通貨別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。